

夏の川

鈴木 敬人

日本の一番長い川は、^{しなの}信濃川です。三百六

十七キロメートルの長い川は、上流の長野県

側では千曲川^{ちま}と呼ばれ、水源は甲武信岳^{こうぶしだけ}、

新潟平野を貫流して、日本海に流れ出ます。

ぼくは、その上流の長野県内を流れる様子を

毎年、小海に行、たとき見ています。今年の

川の様子は、水位は高く、流れも速くに、

ていました。お父さんやお母さんは、きれ

なおたかな流れではな、たので残念が、

ていました。千曲川の流水とは別に、小海の

周辺には、小川があちこちにあります。弟と

その流れに、手をつ、こんで遊びます。どの

川も、冷たい！と叫びたくなるほど冷た

いです。小海周辺の川は、夏だけの体験です

が、家の近くにある中川は、ぼくが生まれた

時から、ず、と知、ている川です。利根川水

系の支流で、長さ八十三・七キロメートルで

す。水源は、埼玉県羽生市の住宅地の中にあ

る。それで、東京湾に流れ出ています。ぼくはその川辺を赤^やんのころは、乳^う母^は車に乗せられて散歩し、自転車に乗れるようになってからは、気持ち良くサイクリングをしてきました。今は、時々、お父さんとジョギングをします。水の流氷を見たり、風を感じながら友達とふざついたり、遠くに見える電車が通るのを見たり、ぼくにとっても気持ちのいい場所です。

